

広 報



No. 118号

'78

8月号

■発行/鹿部村■編集/企画管財課■製作/久保内印刷



七月二十一日から八月一日までの十一日間、交通事故ゼロを願う村民一体となって夏の運動を展開、大きな成果を納めて終了しました。

運動は、本村の交通安全標語である「とびだしは 死をまねく」その「一歩」のステッカーを各戸の玄関貼付作戦に始まり、町内会交通安全部部長の協力による黄羽根募金運動、更には通行車輛を対象にジュース、ヤクルト、ガムをドライバーにサービスし、安全運転の呼びかけ、又各町内会の積極的な参加による交通安全祈願パレードと多彩な運動が実施されました。

交通事故ゼロの願いは全村民の願いです。

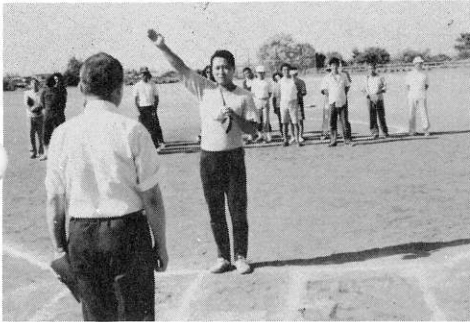
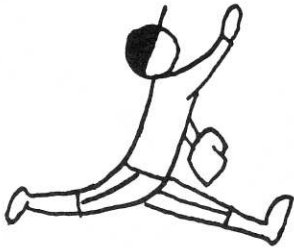
一人一人が自分を守り、そして他人を守り、交通事故のない豊かな住みよい鹿部村にいたしましょう。

“交通事故”を
撲滅しよう

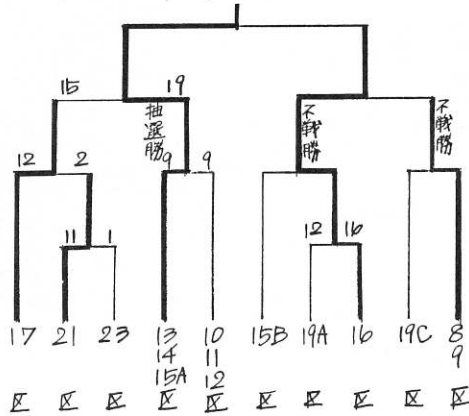
村民ソフトボール大会
盛大に終る

今年で七回目をむかえた村民ソフトボール大会は、回を重ねるにつれて技術も向上し、各試合に美技(フライングプレー)が続出した。結果は次のとおりです。

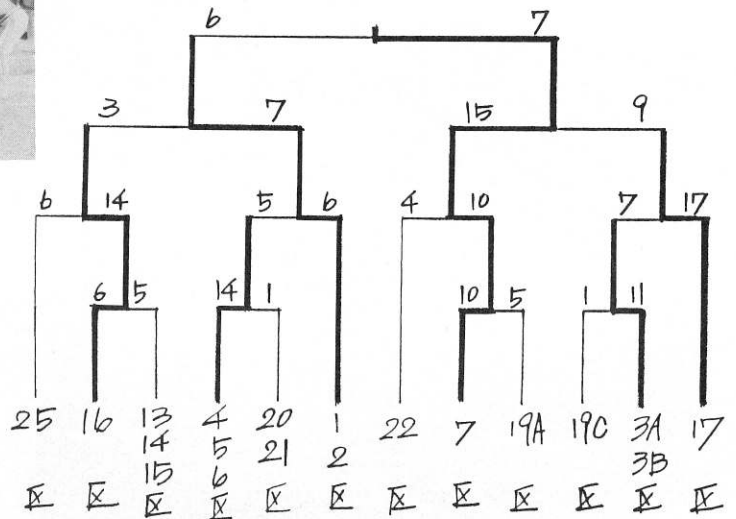
- (青年の部)
優勝 第七区(一年ぶり三回目)
二位 第一・二区
三位 第十七区
- (壮年の部)
優勝 第十三・十四・十五A区(二年連続優勝)
二位 第十六区
三位 第十七区
- (女子の部)
優勝 鹿部(初優勝)
二位 第三A・B区
三位 宮浜



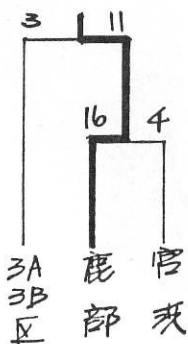
(壮年の部)



(青年の部)

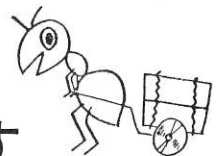


(女子の部)



= 伸ばそう村勢 延ばすな村税 =

8月は村道民税(2期分)の納期です
保険税(3期分)



鹿中健児の意気高く!

野球・柔道・卓球

全道大会出場

● 野球部

渡島大会二連勝

渡島支庁地区大会初優勝成る!

茅部地区大会では、ここ数年二連勝、一年おいて三連勝をしていただけに茅部地区大会での敗戦の「屈辱」をはねのけ、渡島大会では、部員全員がひとつにまとまり「燃えろ! 飛べ!」を合言葉に燃えに燃えた結果つかんだ勝利であった。

〈渡島大会の結果〉

鹿部中 1 2 0 0 3 0 0 — 7
 黒岩中 0 0 1 0 0 0 0 — 1

準決勝

鹿部中 1 0 0 0 1 0 0 — 2
 東光中 0 0 0 0 0 1 0 — 1

決勝

鹿部中 0 0 0 1 1 1 0 — 3
 上磯中 0 0 0 0 0 0 1 — 1

渡島支庁地区大会は、過去七回先輩達が挑戦し敗れているだけに

部員の意気込みはすさまじく、確実にチャンスをものにした。

内・外野手ともに堅実なプレー、フライングプレーで守りきった。

〈渡島支庁地区大会の結果〉

鹿部中 1 0 0 0 1 0 0 — 2
 戸倉中 0 0 1 0 0 0 0 — 1

全道大会は、何度か得点のチャンスはあったが、相手の堅実な守りと、トリックプレーに得点をばまれついに得点なく敗れた。しかし、優勝した音別中と互角にわたりあった部員の健闘は、たえて余りあった。

〈全道大会の結果〉

鹿部中 0 0 0 0 0 0 0 — 0
 音別中 0 0 1 0 0 0 0 X — 1 X

(山本監督)

ここまでやってこれたのは、父母の温かい応援、地域の理解と応援のたまものと考えます。

練習をじっと見守ってくれた人、暑い中をバツティングピッチャーをやってくれた人、渡島大会でグランドをなおしてくれた人、忙しい中を応援にきてくれた人、ころよく練習台になってくれた人、これらの人々ともどもつかんだ勝利といえるでしょう。

稚内から帰った次の日から一・二年生の練習がはじまりました。全道大会の教訓を生かして、これから頑張るつもりです。来年も今年以上の応援をお願いします。



● 柔道部

鹿中善戦、あと一歩でベスト4

— Dグループで第二位 —

鹿中は、伊達中(胆振)留萌港南中(留萌)青苗中(桧山)とグループを組み、今年こそ一勝をとの強い決意を抱いて試合にのぞんだ。

鹿中の選手は、終始攻めの柔道で善戦しましたが、今ひとつ力不足で準決勝進出がなりませんでした。

(針生監督)

「一・二年の選手には全道大会のレベルがわかり「来年こそは!」

の気持ちを持ったことと思います。柔道部先輩の御指導や村民のみなさまの御支援を深く感謝いたします。」

戦績(対戦順)

×鹿部中 0-2 (引分3)伊達中 0-0
 ○ " 4-1 青苗中 ×
 ○ " 5-0 留萌港南中 ×
 二勝一敗で伊達中(三勝)に次いでDグループ第二位。

来年は準決勝進出を目標に生徒は練習に励んでいます。

● 卓球部

伝統の力発揮できず……

今年で九回目の道大会出場の鹿中選手は、上位入賞を目標に頑張りましたが、三回戦で敗れました。

道大会結果

(個人)

横山 勝恵 三回戦で敗退
 伊藤 園子 一回戦で敗退

渡島大会結果

(団体)
 鹿中 準優勝(道大会連続出場ならず)



年金は明るい老後の道しるべ

特例納付が七月一日からスタート

無年金者解消へ

「通産老令年金」

今年、異常気象とも思われる暑い日が続く中、函館社会保険事務所の係官が来村、年金相談及び無年金者（国民年金に加入して、過去の未納期間が多い為に年金を受けることが出来ない者）を対象に戸別訪問し国民年金制度の持つ重要性の意味を無年金者と一緒に考え今回で最後と言われている特別納付の勧奨を行なった。

当時十一名の無年金者の内戸別訪問し、キメ細かな指導により八名に減り、無年金者の中には、二年間で七十万、或いは、二人で百万円と言う高い金額を納めなければ、将来年金を受けることができ

ない人もおります。国民年金は、一月一月の積み重ねが老後の生活安定につながりますので、今回無年金者の中に入らなかった人でも、時効は基準日ごとに発生しております。一日ぐらい未納になっていても言うのが将来年金が受けることが出来なかつたり、あるいは、減額されたりして、老後の不安にもつながります。老後は、そろって高い年金を受け、豊かな生活を築くことを望みます。

通算老令年金は、公的年金制度の各被保険者期間が一年以上あった場合、それらがじゅつつなぎに通算され、一定の条件にあうと年金が支給されます。

例 厚生年金十二年、共済組合八年の加入期間を合わせて二十年以上ある人が国民年金に三年加入した場合、

答 共済組合の加入期間と厚生年金の加入期間を合わせて二十年以上あれば、通算老令年金が支給されます。この人が国民年金に一年以上加入すれば、さらに国民年金からも通算老令年金が支給されます。

厚生年金



船員保険




共済組合

国家公務員共済組合
公共企業体職員等
地方公務員等
私立学校教職員
農林漁業団体職員



国民年金



国民年金委員の設置にご協力を!!

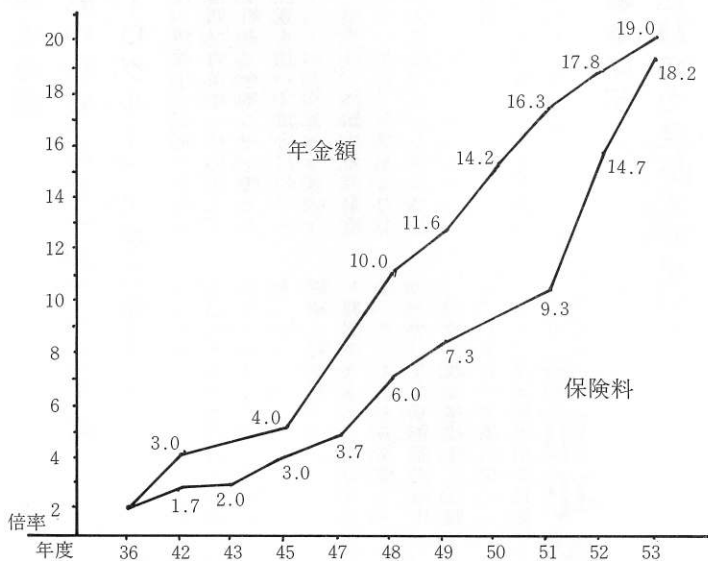
国民年金制度は、老後の生活保障の根幹として、充実、発展しておるべきであります。

又、人口の急激な老令化と年金の成熟化に伴って年金受給者が増加し、老後の所得保障の主として年金に寄せられる国民の期待と関心が日増しに高まりをみせています。

このような現状を背景として年金に関する質問、相談が急増しておりますが、年金制度を被保険者や受給者に正しく理解していただくためには、行政面の努力だけでは十分ではなく、地域、町内会組織において、被保険者や受給者の指導相談に当たってくれる方が必要となっております。

つきましては、近日中に各町内会長にお願いの文章を送付致しますのでよろしくお願い致します。

年金額対保険料の伸率



昭和52年度国民年金保険料免除状況

	被保険者総数			免除者数		総数者	免除率		区分率	
	強制	任意	法免	申免	総数		強制	法免率	申免率	
51年度	2,032	1,962	70	43	48	102	5,0	5,2	2,2	3,1
52年度	2,042	1,949	93	59	72	120	5,9	6,2	2,5	3,8

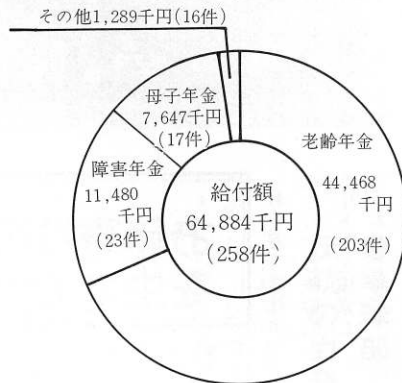
国民年金検認状況

検認対象月数			検認実施月数			検 認 率		
51年度	52年度	前年比	51年度	52年度	前年比	51年度	52年度	前年比
22,723	22,465	98.9	22,240	22,282	100.2	97,9	99,2	1.3

国民年金保険料収納状況

	国民年金印紙売さばき額	保険料徴収額	追納保険料
51年度	31,633千円	31,442千円	21千円
52年度	48,185	49,231	56

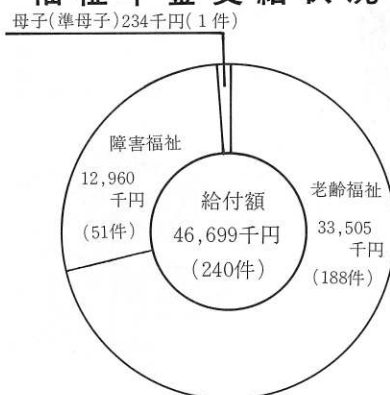
国民年金(拠出)支給状況



老 齢 年 金 内 訳

種 別	件数	給付金額
65歳支給	55件	14,825千円
繰上 "	81	16,451
5年年金	67	13,192
合計	203	44,468

福祉年金支給状況



受 給 権 者 内 訳

	受給者数	全額支給	全額停止
老 齢	206人	18人	188人
障 害	1 級	44	2
	2 級	10	1
母子・準母子	1	0	1
合 計	261	21	240

老人福祉週間

みんなで築こう豊かな老後

“老年の報酬は精神の自由”

より積極的に生きるために

総理府が実施した「老後生活に関する世論調査」によりますと、お年寄りの半数近くは、何の趣味も娯楽もない、と答えています。サマセット・モームのことばに「老年の最大の報酬は精神の自由である」というのがありますが、長い老後を、再び訪れた第二の青

春時代ととらえることはできないでしょうか。

これからは、特にお年寄りが積極的に仕事や趣味を生かす時代です。

全国に約百三十か所の高齢者無料職業紹介所があります。仕事のあつせんや相談をどしどしお寄せ

下さい。

わが国の老人クラブの普及とその組織率は、欧米に例を見ないほど発達しており、全国に約十万以上を数えます。いままでは、レクリエーションに重点がおかれていましたが、今後は世代間の交流、寝たきり老人の訪問、それぞれの技能を生かした奉仕活動や地域社会への参加など、より積極的な姿勢を目ざしています。あなたも加勢してみませんか。

心のプレゼント

お年寄りに便りを

年離れたご両親へ、あるいはお孫さんからおじいさん、おばあさんへ、お知り合いのひとり暮らしのお年寄りなどにも、心のこもった敬老の便りを出しましょう。一通の便りにこめられたやさしい心は、お年寄りへのすばらしいプレゼントとなるでしょう。

お年寄りのパワーを生かそう

多くのお年寄りの声に耳を傾けてみると、お年寄りの願いは、決して年金の増額や老人ホームの処遇の改善だけではないことがわかります。お年寄りの方々は、長年培った知識、技術、人生経験を生かして、社会の一員としての役割をはたしたいと願っています。

高齢者

人材活用事業

お年寄りは社会性をもった積極的な生き方を模索しているのです。生きがいとは、自分自身を精一杯生かすことではないでしょうか。

そこで、文部省では本年度から、長年培った知識や技術などの優れた能力をもつお年寄りの方々の力を社会に還元していただくこと、お年寄りの人材活用事業を実施することになりました。

これは、都道府県・市町村がこの事業を実施するために必要な経費の一部を国が補助するというものです。

具体的にいきますと、この事業を実施する都道府県・市町村教育委員会が、優れた知識や技能をもつお年寄り(おおむね六十歳以上)

を募り、応募者には、社会教育の指導者として必要な知識、技術について、二十時間程度の研修を行います。受講後は指導者として登録し、子供会や老人クラブなどの社会教育活動や、郷土史、時事問題、英会話、手芸、料理などの学習活動の指導者として活躍していただきます。お年寄りの方々の積極的な参加を期待します。



小型動力ポンプ操法の部で

鹿部消防団第四分団が優勝

渡島地方消防総合訓練大会

昭和五十三年度渡島地方消防総合訓練大会が尻岸内町恵山小学校において開催されました。

この日、函館市はじめ十六町村の消防団が参加、日頃のポンプ操法の成果を披露、各出場部隊ごと隊員の動作、操作、タイムなどを審査しました。

鹿部からは小隊訓練（審査なし）、消防ポンプ車操法、小型動力ポンプ操法の三種目に出場しました。小型動力ポンプ操法の部において、昨年度三位入賞をはたした第四分団（宮浜）が再度出場し、小型動力ポンプの部で九隊出場した中から優勝しました。

小型動力ポンプ及び消防ポンプ小隊訓練ともに約十五日間訓練したもので、その成果が認められたものです。



交通安全黄羽根 募金運動に

ご協力ありがとうございます
ございました

夏の交通安全運動期間中、各町内会の交通安全部長のご協力を得て実施いたしました黄羽根募金運動に、総額十三万一千六百五十円という予想をはるかに上回る募金が集まりました。

このお金は、広く道内の交通遺児に対し、主に学業資金として利用される貴重な募金です。

皆さんの、心暖かいご厚意に厚くお礼申し上げます。

交通安全募金

町内会名	金額	町内会名	金額
第1区	6,150円	第15B区	3,000円
2	3,400	16	16,300
3 A	9,550	17	6,800
3 B	2,950	18	4,300
4	3,600	19 A	4,150
5	1,450	19 B	5,050
6	2,000	19 C	4,400
7	2,000	20	3,350
8	1,600	21	2,100
9	7,400	22	3,500
10	2,800	23	4,800
11	2,000	24	3,500
12	1,500	25	10,400
13	1,000	出来潤	7,650
14	2,350	一般募金	400
15 A	2,200	合計	131,650円

=交通安全日=

- 毎月15日は、「老人の交通安全日」です。
- 毎月1日、15日は、「交通事故死ゼロの日」です。
 - ・ 運転者も、歩行者も交通ルールを正しく守り、1日（15日）は、交通事故死を出さない日にしましょう。
 - ・ 車は急に止まれません。道路を横断するときは右を見、左を見、もう一度右を見て安全を確かめて渡るようにしましょう。
 - ・ 家庭から、地域から、交通安全の輪を広げ、老人を悲惨な交通事故から守ってあげましょう。
 - ・ こどもは、良いことも悪いことも大人のまねをします。まず大人が交通ルールを守って模範を示しましょう。

おしらせ

児童手当制度のお知らせ

昭和四十六年に児童手当法が制定されてから七年も経過いたしました。

この児童手当とは、十八歳未満の子供を三人以上養育している場合、三人目の児童から五千円の金額を支給し、生活の安定はもとより児童の健全な育成に役立っているものです。

皆さんの家庭で三人以上（十八歳未満）の子供がいて、児童手当を受給していない方はおりませんか。

所得制限等の規制もありますが、もしおりましたら、役場民生課までお問い合わせ下さい。

海上保安大学校・学校学生募集について

海上保安庁では、昭和五十三年度海上保安大学校及び海上保安学校の学生募集を左記募集要領により行なうこととしておりますので、希望者は期日までに申込して下さい。

記

受付期間 九月二十九日から十月十二日 まで

採用予定数

- ・ 大学校学生 約五十名
- ・ 学校学生 約百九十名

受験手続

受験申込用紙請求先
人事院北海道事務局
〒〇六〇 札幌市中央区大通西十丁目

電話番号
(〇一一)二四一一二四八

尚、詳細についてお知りになりたい方は役場水産課までお問い合わせ下さい。

北海道警察本部からのお知らせ

行方不明者相談所を開設いたします。

みなさんの家族や親族の方で、家出をしたり、出張や出張先から突然、所在が不明となった人はいませんか。道内では昭和三十九年から現在まで約一万人の人が行方不明となっております。

このなかには、不幸にも犯罪の被害者となったり、すでに死亡して身元がわからないため無縁墓地に淋しく葬られている人もあります。

このような人を少しでもなくしたいということから本年もつぎの

日程で「行方不明者相談所」を開設いたします。個人の名誉と秘密は厳守いたしますので、その消息を案じておられる方は、気軽に相談においでください。

函館方面

九月六日～八日

函館市五稜郭町一五一五

函館中央警察署

九月十一日

山越郡八雲町富士見町

八雲警察署

九月十三日

桧山郡江差町宇上野町

江差警察署

※各相談所は午前九時三十分から午後四時まで開設いたします。

ありがとうございます

ごさいます

坂田栄一氏より村内のめぐまれない人々のためにと、社会福祉協議会に十万円が寄附されました。

よろこび

かなしみ

☆おたんじょうおめでとう

- 中村 明博 勉 宮浜
- 松川 敦子 健一 "
- 中村 巧 敏春 本別
- 表野 勝洋 准司 大岩

★おくやみもうしあげます

- 村田 直司 二四歳 本別
- 佐藤 友造 六九歳 宮浜

道産一家

工藤恒美



村の人口	(53,630現在)
()	は前月比です
世帯数	1,213世帯(+5)
総人口	4,994人(+11)
男	2,501人(+6)
女	2,493人(+5)

